



第5号  
那覇市立  
石嶺中学校  
校長 仲嶺香代

# 一学期を振り返る

## 各学年の生徒代表あいさつ

「終業式生徒代表あいさつ」

一年 喜納 晴斗

僕が学年委員として特に頑張ったことは二つあります。一つ目は行事や学年朝会への準備です。朝早く学校に来て作業するのは大変でしたが、とてもやりがいがありました。特に五月の校外学習は、準備に加えて運営があり忙しかったですが、みんなが楽しんでいっている様子を見て、頑張ったよかったです。

二つ目は、授業で積極的に発言をすることです。授業の雰囲気をよくするために、学年委員である僕が積極的に発言しようと思ひ、授業での発言を増やすことに心がけました。しかし、授業中に気が緩んでしまうことがあったので、

二学期は授業中はいつでもしっかり気を引き締められるようにしたいです。

一学期はとても充実した学校生活を送ることができたと思います。学年委員での経験を二学期からの学校生活で生かしていきたいです。



1 学年生徒代表あいさつをしてくれた喜納 晴斗さん

「生徒代表あいさつ」

二年 橋 諒真

僕には、一学期の成果が一つ、課題が二つあります。まず一学期の成果です。

四月はどこか人見知りの様な雰囲気、発表の時も、人任せにしているように見えましたが、団活動をしていくうちに、クラスの仲が深まっていききました。そのおかげで、何か悪いことをしている人をお互いに注意することができるようになりました。

次に一学期の課題です。二年生になって学校生活に慣れてきたのか、休み時間の過ごし方が気になってきました。

一年生の頃できていた、三分前ベル席が、今では一分前まで立ってしゃべっている生徒を時々見かけます。二学期は席に座るように声かけをして行動するのではなく、二学年らしく、自ら時間を見て行動するように心がけていきたいです。

もう一つの課題は積極性がないところと、他人の目を気にして、手を挙げる人が少ないように感じます。なので、間違えを恐れずに、次成功すれば良いとポジティブに考えて、たくさん発表しようと思ひます。

一月には中学校行事の花である修学旅行があります。一学期にできなかったことや、直せなかったことを振り返って、二学期には課題を改善

し、皆が楽しめる最強で最高の修学旅行にしましょう。



2 学年生徒代表あいさつをしてくれた橋 諒真さん

「生徒代表あいさつ」

三年 土屋 優斗

一学期が終わりますが、今年の一年は、コロナがおさまり始めて、コロナ前の日常にも少しずつ戻ってきた気がしました。そのため、クラスで協力することも増え、中には少し人間関係が心配だった人もいるかもしれません。しかし、遠足や錬スポ、ハリーリ、そして先日開催された錬心祭などが行われたことにより、仲間意識が高まったと思ひます。

遠足では、新しいクラスメイトと顔を合わせて、クラスの仲間と協力して、学級全体が盛り上がったと思ひます。錬スポは、新学期が始まり最初の団活動となりました。普段は関わりのない他の学年と、団長、副団長を中心に、各団素晴らしい団結力が見られました。

ハリーリでは、これまでコロナで開催されていなかったため、あまりなじみがない中二週間しか練習期間がなく、不安なところもありましたが、先生や地域の方、参加した生徒全員で協力して、学校代表として戦うことができ、名門石嶺中に優勝旗を持ち帰ることができました。

そして、錬心祭です。錬心祭では、夏休み頃から生徒会や中央委員などを中心に、「青春一歩 Over the top」をスローガンとしてかかげ、各団が素晴らしい演技ができて、第二回錬心祭を、無事終えることができました。二学期では、一学期に達成できなかったことを目標に日々大切に過ごし、合唱コンクール、二学年は修学旅行、三学年は受験など、忙しくなると思ひますが、名門石嶺中としての自覚を持ち、頑張っていきたいです。



3 学年生徒代表あいさつをしてくれた土屋 優斗さん